



注) このプレスリリースは、米国メドトロニック社が 2009 年 2 月 23 日に発表したリリースの抄訳を元に、日本メドトロニックが日本市場（報道機関）を対象にさらに編集したものです。

報道関係各位

2009 年 2 月 23 日

メドトロニックがベンターテクノロジー社を買収

経カテーテル大動脈弁置換術でリーダー的役割を目指す

メドトロニック本社(米国ミネソタ州ミネアポリス、会長兼最高経営責任者:ビル・ホーキンス)は 23 日、大動脈弁疾患治療用経カテーテル心臓弁テクノロジーの開発会社であるベンターテクノロジー社を買収すると発表しました。買収額は 3 億 2 千 5 百万ドルです。

現在の動脈狭窄症の治療では、開胸下での弁置換術が主流となっています。しかし、手術による健康状態の悪化の可能性があるため、外科手術を受けることが出来ない患者の方も多くいます。経カテーテル弁は、これまで弁の置換が必要とされながら、外科手術が出来なかった方への非外科的治療法となります。

この買収により、メドトロニックの経カテーテル弁の治療に、外科的低侵襲経心尖テクノロジーと次世代の経皮的アプローチである経大腿動脈テクノロジーの 2 つが追加されます。これらの補完的テクノロジーは、手術が難しい大動脈狭窄症患者に新しい治療の可能性をもたらします。

ビル・ホーキンスは、「ベンターテクノロジー社と、メドトロニックの研究開発、オペレーション、医師・患者向け教育啓発ならびにマーケット開発の強みが組み合わせられることで、外科医およびインターベンショナル・カルディオロジストの双方に治療の選択肢が増え、患者のニーズに対応できるようになるでしょう」と話しています。

ベンターテクノロジー社の社長兼最高経営責任者ガイ・エゼキエルは、「我々の専門技術が、メドトロニックの経カテーテル大動脈弁テクノロジーの発展に貢献できることは喜ばしいことです。世界に 30 万人以上いる重度大動脈狭窄症患者の治療の質を高められることを期待しています。」と述べました。

本日発表された別のニュースリリースでは、メドトロニックは、コアバルブ社との買収契約の締結を発表しています。コアバルブ社の取締役会および株主はこの買収を承認しており、規制当局からの許可が必要となります。これらの買収は、循環器医療の革新に向けたメドトロニックの意欲を表しています。

※ 本プレスリリースにある予測的な記述は、2008年4月25日時点でのメドトロニック・アニュアルレポート（フォーム 10-K）に記載のリスクや不確実性の影響を受ける可能性があります。実際の結果は予測と相違する可能性があります。

メドトロニック（Medtronic Japan Co., Ltd.）について

メドトロニックが提供する先端医療技術は心臓疾患を始め、パーキンソン病、糖尿病、脊椎疾患、脳疾患、慢性的な痛みなど慢性疾患を広くカバーしています。日本メドトロニックは1975年の設立以来、30年以上にわたり慢性疾患をお持ちの方々に安らぎ、喜び、希望が届くよう事業活動を行っています。

ウェブサイト <http://www.medtronic.co.jp>